

公益財団法人 核物質管理センター  
第34回理事会議事録

1. 開催日時 令和4年6月24日(金)  
14時00分～15時00分
2. 開催場所 東京都台東区東上野1-26-2  
オーラム 「ROSE ROOM」
3. 出席者(順不同)  
理事 牛田克己、内山洋司、海老原充、木下雅仁、  
久野祐輔、小林功、下村和生  
【理事現在数8名、出席理事7名】  
(秋山信将理事は欠席)  
  
監事(非常勤監事 高本学)は欠席  
【監事現在数1名、出席監事0名】

事務局 総務課長：遠藤雅伸 他

4. 議長 仮議長：下村和生、理事長選定後：下村和生
5. 議題  
審議事項  
第1号議案：理事長及び業務執行理事の選定の決議

6. 議事の経過及び結果

審議に先立ち、理事及び監事の全員から本理事会の開催につき同意があった。本日欠席の理事と監事からは、別途同意することが確認されている。(本理事会は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第94条第2項の規定に基づく「招集手続きの省略」の方法による開催(理事及び監事全員の同意が必要)である。)

はじめに出席理事の互選により、下村理事が仮議長に選出され、本理事会の開催が宣言された。

次に事務局から、理事現在数8名に対し6名（海老原理事は少し遅れて到着）の出席があり理事会の成立要件である過半数の理事の出席であるため、本理事会は有効に成立していることが報告された。

また、本理事会の議事録署名人は定款第38条に基づき、理事長となることが報告された。

審議及び報告の経過は以下のとおり。

#### 6.1 審議事項

##### 第1号議案 理事長及び業務執行理事の選定の決議

事務局から、資料1を用いて理事長及び業務執行理事の選定について（案）の説明が行われた。

審議の結果、出席理事全員一致をもって次のとおり理事長及び業務執行理事の選定が決議され、被選定者はその就任を承諾した。

理事長：下村和生

業務執行理事：小林功、久野祐輔

また、理事長が選定された後、下村理事長が議長となり、「常勤理事の業務分担に関する規程」の変更はないことが報告された。

##### 審議過程で出された意見等

- ・専務理事の選定について、職員のモチベーションアップや現状の体制（理事長と業務執行理事の3人体制）から変更する必要性及び財政措置（人件費増加等）の観点から議論されたが、今回は今まで通り選定しないこととした。
- ・参考資料2について、新陳代謝や公募の活用検討の記載があることに関する質問があった。これに対し事務局から、本日午前から午後に亘り開催された評議員会の場において、原子力規制委員会臨時会議における議論内容が、参考資料2により評議員へ伝えられたことについて報告があった。

#### 6.2 その他

審議事項終了後、（理事長が所内向け講話資料として使用した）「講話：原子力安全及び核セキュリティ強化」に関する資料（席上配付）について、セーフティーカルチャーに係る外国と日本での議論や思考の違い等、種々意見交換や議論が行われた。

7. 配付資料

資料1 理事長及び業務執行理事の選定について(案)

参考資料1 令和4年度原子力規制委員会 第10回会議議事録

参考資料2 令和4年度原子力規制委員会 臨時会議 第16回会議議事要旨

席上配付 講話：原子力安全及び核セキュリティ強化

以上、理事会の議事の経過及び結果を明確にするために、議事録を作成し、出席した理事長が次のとおり記名押印する。

令和4年6月24日

理 事 長 下 村 和 生

( 議事録作成者 : 公益財団法人 核物質管理センター  
総務部総務課長 遠藤 雅伸 )